



産直ニュース（農・畜・水産）14週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
14週	登録いちご三次A					予約いちご三次①			
	木成りはっさく②					甘夏③			
15週	うすいえんどう①(!)		登録いちご三次B			予約いちご三次②			
	筍(!)		木成りはっさく③			甘夏④			
16週	うすいえんどう②(!)		登録いちご三次A			予約いちご三次③			
	木成りはっさく④		パイナップル(ボゴール種)①			河内晩柑①			
17週	登録いちご三次B					予約いちご三次④			
	パイナップル(ボゴール種)②					河内晩柑②			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

■よ・やくる「梅」16週案内(今週配布)のお詫びと訂正

栽培内容に関して、化学肥料不使用で案内しておりますが、今シーズンについては一部の樹を対象に化学肥料が混合された有機質肥料を使用している旨の報告が生産者からありましたので、以下訂正いたします。

誤：化学肥料不使用

正：有機肥料中心

*これまで化学肥料は一切使用してきませんでした。本年は一部の老木に対して緊急的に樹勢回復を促す目的で微量の化学肥料を含む有機複合肥料を施肥しています。

通常の成木に関してはこれまで同様に有機肥料100%での栽培となります。

確認が遅れたことで注文案内の内容修正が出来ないまま配布することとなりました。

お詫びの上、訂正いたします。

■うすいえんどう Now

3/29に「うすいえんどう」の園地視察に赴きました。今シーズンは1月にマイナス気温となり霜の被害が出ましたが、その後は順調にすくすく育っています。既に背の高さは2メートルくらいまで伸びており、生活クラブの供給予定週15週(4/12～)には既に収穫が始まる見通しですが、霜害を受けた部分(下段部)を採り終えてから生活クラブ向けの出荷を開始する事にしており、天候によってはお届け開始が少し遅れる可能性があります。(直近の気温が低く、微妙な情勢です)

写真は林氏→

研修仲間の杉本章太さんとうすいえんどうの芽掻きで忙しそうに作業されていました。

自らは2年前から借りたハウスで「絹さやえんどう」を栽培しています。絹さやは1月から4月一杯まで毎日収穫が続きますが、スタッフとして手伝っている「うすいえんどう」は11月定植後から管理作業が始まり、出荷前の芽掻き作業など長期間管理を続けて、収穫は2～3週間で一気に終了する作物です。

『植えてから長い間手をかけ続け、ようやく収穫が始まったらすぐに終わる…。駆け足の作業で、同じ豆類でも絹さやとは全然性質が違うんですね』梅も6月初旬から収穫始まり、2～3週の短期間で終わります。豆～梅と南部の春は作業が大忙しの日が続きます。それでも『就農して5年ほど経ちましたが、忙しいけれど農作業は自分の性に合っており、とても楽しいです。』と会うたびにいつもにこやかに話してくれる林氏でした。



と会うたびにいつもにこやかに話してくれる林氏でした。